

穂見集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成25年 7 月 12 日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	智頭町	組織名	穂見農事組合
------	-----	-----	--------

1 地区の範囲
八頭郡智頭町 穂見集落

2 地区の概要

水田面積	10.75 h a
主な水田栽培作目	水稲・野菜・花卉
農家数	28 戸
認定農業者数	0 経営体
地域水田農業ビジョンの担い手数	0 経営体

3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。）
・ 設立時期（規約等の制定日）【平成25年 4 月 12 日】

	組織形態（該当形態に○）	構成農家数
【現状】事業開始年度 （25年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未組織 ・ 共同利用型 ○ 作業受託型 ・ 協業経営型 	23戸
【目標】事業開始翌年度 （26年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用型 ○ 作業受託型 ・ 協業経営型 	23戸

注1) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増でも可。

4 集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

項 目	【現状】（平成25年度）	【目標】（平成27年度）
集 積 面 積 A	0 h a	6.53 h a
対 象 水 田 面 積 B	10.75 h a	10.75 h a
集 積 率 A/B	0.0 %	60.7 %

注1) 集積率の目標は、50%超が採択要件。
 注2) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。
 注3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】
<p>1 担い手の明確化及び水田利用集積目標 穂見集落は土師地区の中心部に位置し、水も豊富で日当たりの良い農業に最適な地区である。現在の農家数は28戸で、水田面積は10.75haである。後継者のほとんどが兼業農家である中、新たな後継者育成と、集落営農組織の運営を牽引するリーダーを育成すべく、集落全体で取り組んでいく。 まず、集落営農組織を設立し、集落で管理できる機械を導入。オペレータを選任し、水稲面積6.5haの集積を目指す。</p>
<p>2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策 生産調整目標に応じた水稲作付面積を確保しつつ、転作は野菜、花卉を栽培する。</p>
<p>3 農業用機械施設の効率利用 自己所有の機械を利用しつつ、新規購入機械の利用を拡大し、作業の効率化を図る。しかし、個人が所有するコンバインの老朽が進んでおり、平成27年度以降は補助事業で導入のコンバイン(3条)1台で作業を行うこととする。</p>
<p>4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針 現在のオペレータは50代を中心に7名おり、当面問題は無い。また農家後継者が20~30代に5人いるので、集落営農活動を通じ、オペレータとして育成していく方針である。</p>
<p>5 経営多角化の方針・具体策 なし。</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(千円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン一式	3条	1	4,567	H25年8月	○
ラジコン動噴一式	6.3PS	1	583	H25年8月	○
合計			5,150		